



森セラピー 通信 森のたより

8月18日(土)に、JAしまね赤来支店の皆さんが「町民向け森林セラピー」に参加されました。支店長の渡部靖弘さんに、森林セラピーに参加した感想をお聞きしました。



出発前に血圧測定

職員の福利厚生で森林セラピーを体験
中山間地域で生活している私にとって、休日は農業をしているため常に森林の中にいます。しかし、普段のことは何も考えず、セラピーガイドさんと一緒に森の中を散策して植物を観察したり、



森の中で横になる。意外とない経験。

小田川のそうそうと流れる水の音、ミンミンと鳴くセミの声を、目を閉じて耳をすましてゆっくりと聞いた、爽やかな風を感じながらハンモックに揺られているときは、時間が止まっているような感じがしました。
今回は、JAしまね赤来支店全職員13名で、森林セラピーを体験しました。

職員の中には、体調が良くなった人も数人いて、「参加して良かった」とのコメントがありました。職場の雰囲気も森林セラピー効果が続いているような気がしています。今回は、夏の体験でしたが、次回は秋の紅葉を見にいきたいと思います。
島根県で唯一の森林セラピーを、職場やグループでぜひ体験いただき飯南町の魅力をたくさんの人に感じていただきたいと思います。

相撲の元祖 野見宿禰ゆかりの地



【島根県立古代出雲歴史博物館蔵】

今年10月13日、赤名農村環境改善センターで、「第11回全国相撲甚句大会」が開催されます。「相撲の起源」「野見宿禰」「語り継がれるゆかりの地」を、全3回にわたって紹介します。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会(い〜にゃん人つなぎ協議会)
電話76・2864(地域振興課)

〈第3回〉語り継がれるゆかりの地
呑谷の「野見野」のほかにも、赤名地区には野見宿禰ゆかりの地が存在します。上赤名にある「すくも塚古墳」は、野見宿禰のお墓と言われている。



すくも塚古墳の案内看板

難波和夫さん(CATVのインタビュー映像から)

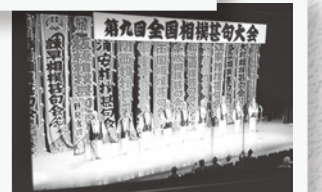
野見宿禰の語り部、難波和夫さんは「野見宿禰は、広島県に通じる、かつての旧道沿いのこの小さな山に埋葬されたと聞いた」と語ります。難波さんが、10歳くらいの頃、おじいさん(文久3年生まれ)から

野見宿禰やそのお墓について教えてもらったとのこと。
また、地元の偉人をたたえようと野見宿禰顕彰の碑が地元「野見野」の地に建立され、8月18日に除幕式が行われました。

来月の10月13日(土)には、赤名農村環境改善センターで、「第11回全国相撲甚句大会」が開催されます。本町からは、野見宿禰赤名相撲甚句会が出場されます。



野見宿禰顕彰の碑



俳句

琴峯華俳句会 八月例会作品抄

災害をまぬがれし夜の虫の声 秋に入り土囊残るやふることに 安部 豊枝
秋立つや復旧工事遅々として 暑き日々静止画像の如く過ぎ 土池 博子
友と来て吾亦紅の野に憩いをり 花火玉ふるふる震えつつ天へ 松平富美子
秋立ちぬ昔中合せの鳥かな 垣内 良野 補助輪をはずして彼方夏の雲 八嶋 敏江
畦道に人待ち顔の吾亦紅 佐々木康子 馬道の秣の中に鳴き始む 山崎智恵美
この暑さ忘れてゲームに夢中かな 田部智津子 八嶋 昭男
森 征子

短歌

赤名短歌会 中村三四二前会長追悼作品

芍薬の大輪の白咲きさがり崩れむとする刻の寂けさ 岩佐 恒子
平和への祈りは永遠に三四二様の手植糸の青桐今日は滂るも 石田フクエ
平和への米朝会談案(つ)先陣のうたびとおおきりの彼方に 澤田 勝登
梅雨晴れの朝かがやく樹あり君が植えにシアオキリ二世 澤田久美子
ぼつかりと天穴のあいたわが胸に梅雨晴れの風ただ吹き抜ける 門所 詠子
「ふし」のサーモンピンクの色優し次代への願い詠ひし人よ 星野 敦子
三四二氏の賜りし本悲しみをこらえて読めり遺言として 鳥田 勝信
二輪草白寿まで咲く約束も空しく一輪何故散り急ぐ 本間 麗子
こんなにはありがたうねとごめんねの宝の言葉吾は恵まれし 清原 豊明
青桐は大いなる歩み伝えむと両手ひろげて大空あおぐ 吉川 暎子
(左は、辞世の句)
夫婦して九十八歳迎へたり体保ちて生きて行くらん 中村三四二

すこやか

8月届出分

新生児 福田 美結(ちん) 届出人 地区 裕 樹(下赤名)

やすら

8月届出分

お名前 三上 光江様 親族 地区 二(野) 萱
東代 政枝様 晴 俊(小) 田
奥野 久子様 泰 久(小) 田
景山 良久様 朋 幸(川) 西
諏訪部 正人様 吉 正(町) 区
清原 茂夫様(90) 豊 明(下赤名)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

あなたは私の宝物
あの子も誰かの宝物

赤名小3年 加藤 紫摩さん
家族名 加藤 郁海さん

標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

8月12日に開催された頓原探検隊フェエフでのコマ。競技は最終種目の「100m走」。しかし、内容は全く異なり、水に浮かべた15mのゴザの上を沈まないように走り抜けるもの。見事完走！
子どもは頃よく遊んだ川。久しぶりに入っても昔と変わらず気持ちよかったです。

